



令和6年度学校経営理念

「生徒と共にウェルビーイングな学校を創る」

全ての職員でこの理念を共有し、職員一人一人の持ち味を生かして、解決志向で、動的に問題を解決しようとするチームワークを機能させ、学校教育目標の実現を図ります。この経営理念の下、全ての生徒のウェルビーイングの実現を目指すとともに、職員にとってもウェルビーイングな職場となるよう目指すことで、真のウェルビーイングな学校とすることができると考えます。



昨年に引き続き大切にしているもの

生徒が自信をもつために学習や集団づくりの中で成就感や達成感を味わったり、諸活動において自らのよさを発揮しリーダーとして挑戦したり、困難やストレスにもしなやかで折れない心で対応できる**勤さ(レジリエンス)**を高めたりできる環境を整え、生徒の**「なりたい自分になるための学び」**を支援していきます。

社会の変化は加速度的に増すとともに、学校が抱える課題は多様化しています。私たちは、教育活動を展開する中で、**〈問題に気づき、解決のための目標を立て、目標を実現するための方策を考え、行動する〉**をループさせながら改善を重ねていくことで学校教育目標の実現に迫っていきます。

「マナーの大村中」

今年度、生徒は、見直した生活心得を基にして学校生活を送ることになります。生徒は**「なぜそのきまりがあるの」**を深く考える機会を得ることができ、**単にきまりを守るだけではなく、周りの人の気持ちや状況を考え、適切な行動をとることの重要性を理解できるように**なることを目指します。

今の社会では、物事を個人の力だけで成し遂げることはできません。私たちは、他者とつながりチームとして物事を達成しようとしています。これからの社会では、一層チームとして問題を解決していくことが求められます。

学校生活においても、学級や学年として物事を成し遂げることがたくさんあります。学級として集まった人たちと何となくチームができるわけではありません。みんなで物事に取り組もうとすると、何となくチームワークが生まれるわけではありません。

チームをつくり上げ、チームワークで問題を解決するためには、他者と関わり合うことが必要です。他者とかがわるためには、マナーが大切です。

私たちは、様々なコミュニティに属し、様々な人たちと関わり合いながら生活をしています。「自分がされてイヤなことはしない」ではなく、「相手がされてイヤでないかを考えて行動する」言い換えれば、「自分も相手も気持ちよく過ごせるようにどうすればよいかを考えて行動する」ことを大切にすることが、いいチームをつくるための基礎となるでしょう。

始業式で田中秀明校長が2・3年生に向けて話した内容です。もう一度読み直し、1学期の生活に生かしてください。

これから1年間、みなさんが成長し、目標を実現できるようにするための、共通して重点としてほしいことを校訓に照らして示します。

1学期の行動スタンスは、自主「ルーティンの確立」、創造「プライオリティを判断する」、敬愛「互いを認め合う挨拶」です。

○自主「ルーティンの確立」

みなさんは、この1年間、自分はこうなりたいという願いを込めて、目標を立てます。目標は立てるだけでは実現できませんから、目標の姿に近づくために「何をするか」を決めるはずで、これを継続したり、レベルアップさせていったりすることで目標を実現させることができるわけです。

しかし、目標を実現できない人は、何をしようか決めたものの三日坊主で終わってしまいます。**きちんと継続して取り組むためには、いつするのか、どのような順番で行うのか、ルーティンに組み込むこと**で定着します。「ちゃんとやろう」と誓うだけでは足りません。

新しい学年がスタートするにあたって、生活のルーティンを確認して生活していきましょう。

○創造「プライオリティを判断する」

創造とは、問題を解決して答えをつくりだすことと言えます。

問題を解決するための第1段階は、**まず何に取り組むのか、どの問題から取り組むのか、何を優先させるべきかを判断すること**です。

プライオリティは、優先順位です。小・中・高校生の問題として、SNS やゲームをする時間が長時間になり、様々な面で悪い影響がでていられると言われ、SNS やゲームをする時間を減らそうと言われていています。現実には、それらを減らすことができていません。

優先順位を考えるとという考え方をすると、中学生として必要な睡眠時間を確保することを優先順位の1位するためには、他の時間を減らすなど調整することになります。睡眠時間を8時間確保するために、勉強時間を2時間、SNS やゲームを1時間とするなどということです。

「今自分は何をすべきか」とプライオリティを問題解決の視点としていきましょう。

○敬愛「互いを認め合う挨拶」

挨拶は、**お互いの存在を認め合うメッセージ**です。挨拶をするのは、挨拶をする相手がいるからです。挨拶をされるということは、自分がここにいることを認められているのだということです。

人権教育の第一歩は、挨拶をして相手を認めること、そして、相手の話にしっかり耳を傾けることです。教室を、みんな一人一人が居心地のいい場所とするために、挨拶すること、話を聴くことを大切にしましょう。

学級では、朝、登校して教室に入るとき「おはよう」と声をかけましょう。教室の中にいる人は、「おはよう」と返しましょう。学級の全員がこのような挨拶ができれば、学級の全員にとって居心地がいいと感じるはずです。全校で取り組んでいきましょう。

1 学期の行動スタンダードを常に意識して生活して行ってほしいと思います。

今年の抱負

私は今年度、個人、学年、学級についての3つの抱負があります。

個人としては挨拶です。

私は毎朝、校長先生が校門の前で挨拶をしてくださるときにワンストップ挨拶を行っていました。しかし、校舎の中で先生方とすれ違っても挨拶にとどまり、ワンストップはできていませんでした。

昨年度、生徒会の活動でワンストップ挨拶をした月がありました。その活動がとても好きで、私も意識して行っていました。学校全体でもワンストップ挨拶を行う人がとても多くなっていたと思います。しかし、学年の終わりになるにつれて私の挨拶に対する意識が薄まり、校舎内でのワンストップ挨拶を行わなくなっていたことに気づきました。また、私は通学の途中に、近所の方へ進んで挨拶を行っていませんでした。

みなさんは、ワンストップ挨拶を続けていましたか？

また、地域の方々への挨拶を行っていますか？

挨拶は相手とのコミュニケーションのひとつです。地域の方々との関わりや相手を大事にするためにも自分から大きな声で挨拶をすることが大切だと感じるため、私は昨年度の反省を生かし、今年度は挨拶を意識して過ごそうと思います。

学年としては、早速間近に控えている5月の体育祭です。最高学年の3年生を支え、新しく入学する1年生の見本となるような学年にしてソーラン節を成功させ、学校全体で団結したいです。さらに、ソーラン節を見た人に、去年よりも成長したということを感じてほしいと思います。

学級としては、規則を守りながら一人一人が目標をもって臨み、時にはみんなで結束して一つのことをやり遂げ、楽しみながらメリハリのある学級にしたいです。そのためにも、普段から友人の言葉を尊重して、呼びかけがあれば意識して応じ、向き合うことが大事だと思います。例えば、係の二着黙の呼びかけにしっかり応えることはもちろん、係以外の人呼びかけに気づいていない人に呼びかけ、協力することが大切だと思います。そのようなところから意識の連鎖を広め、居心地のいい思いやりのある学級にしたいです。

今年度、これらの抱負の実現を目標に、2年生という一年間を頑張ろうと思います。

2年 榎原 杏柊

今年の抱負

私の3年生での目標は三つあります。

一つ目は、計画性を持って家庭学習に取り組むことです。今年は受験生として、一つ一つのテストがとても重要になってきます。1・2年生では、テストに向けた勉強の計画を立てるものの、一日にたくさんの教科を詰め込みすぎ、効率のよい勉強をすることができませんでした。3年生では、一日にたくさんの教科を勉強する必要がないように3週間前からコツコツと勉強をするようにしていきたいです。また、受験に向けて、日々の家庭学習で苦手教科の克服を図りたいと思います。

二つ目は、中総体に向けてテニスの練習に励むことです。今年は3年生の私にとって最後の中総体です。最後の中総体で良い結果を残すためにも、日々の練習を真面目に取り組んでいきたいです。また、日々の練習だけでなく隙間時間があれば、家でもできる素振りなどをコツコツと行い、結果へとつなげていきたいです。

三つ目は、最高学年として行動することです。最高学年として体育大会などの学校行事だけでなく、日々の生活の中でも1・2年生の手本となります。ワンストップ挨拶や、身だしなみを整えるなど基本的なことから守っていきたいです。また、体育大会などの学校行事では3年生として1・2年生を引っ張っていけるよう、自分自身が話を聞く姿勢をきちんとすることや、何事にも真面目に取り組むようにしたいです。

この三つの目標を達成できるように、これからも充実した生活を送っていききたいと思います。

3年 宮田 夢子

今年の抱負

皆さん、今日から新たな1年間が始まります。みなさんはこの1年をどのような目標を持ってどのような1年間にしたいですか。

3年生の皆さんは、最高学年になり大中を引っ張っていく存在になります。また、卒業や進路決定に向けた大切な1年間になります。この1年が最後の学年です。部活動、行事、学校生活など悔いのない毎日を過ごしていきましょう。

2年生の皆さんは、明日から新1年生が入ってくることで先輩という立場での学校生活が始まります。1人1人が責任と自覚を持って後輩の手本となって受け継がれてきた伝統を守り、大中がより良くなっていくように頑張ってください。

さて、今年度の生徒会スローガンは「常笑希龍 ～今、新たな風邪を起こすとき～」です。大中がより良くなるために、生徒会では4つの重点項目に取り組みます。それは、ワンストップ挨拶の推進、身だしなみの徹底、無言清掃12分配膳の習慣化、各委員会の取り組みの強化です。

まず1つ目のワンストップ挨拶の推進についてです。昨年目標では、「ワンストップ挨拶の徹底」としていましたが、「徹底」といえるほどできている人が多くなかったため、まずは挨拶をするところからスタートしたいと思い、「推進」という言葉を使いました。1人1人が挨拶を意識して毎朝の登校の時や先生とすれ違うときには挨拶をし、大中全体に広げていきましょう。

2つ目は身だしなみの徹底についてです。今年度から校則が大きく変わって、髪型や服装の決まりも大きく変わります。そこで、身だしなみを整えて学校生活を送れるようにしましょう。

3つ目の無言清掃、12分配膳の習慣化についてです。現在大村中学校は、しゃべりながら掃除をしたり、集中して掃除をしていないという人がいるのが現状です。心を落ち着かせ、集中して掃除をしていきましょう。また、無言清掃をすることで集中力も身に付きます。配膳については授業が終わり次第、速やかに白衣に着替え、目標である12分配膳ができるように頑張ってください。

最後に、4つ目の各委員会の取り組み強化についてです。自分が所属する委員会の取組だけでなく、どの委員会の取組にも全校生徒で全力で協力しましょう。

以上の4つのことを重点的に取り組み、この1年を充実して実りのある年にしていきましょう。

生徒会代表 池田 ちこ（代読）